

T20240531_01_Signal

AI 導入が 800GbE 光の成長を加速

コヒーレント光学系の成長は堅調だが、通信部品市場は依然として低迷している。

調査会社 Cignal AI の最新の 23 年第 4 四半期光学部品レポートによると、データ通信の光学部品の売上高は、AI クラスタで使用される光学部品の需要が爆発的に増加し、4 四半期連続で増加した。Nvidia、Coherent、Innolight は、ハイパースケール AI アプリケーション向けの 800GbE データ通信モジュールの出荷をリードしている。Acacia と Marvell は、大量の 400ZR プラガブルをベースとした高性能コヒーレント・インタフェースの出荷をリードしている。

「データコムの出荷、特に 800GbE オプティクスは急速に増加しており、出荷台数は 2024 年に 800 万台に達すると予測されている」と、Cignal AI の光学コンポーネント担当リードアナリスト Scott Wilkinson は分析している。「テレコムは第 3 四半期の底から徐々に回復しつつあるが、すぐに反転する見通しは立っていない」と続けた。

23 年第 4 四半期光学部品レポートの主な調査結果:

- データ通信の収益は前年同期比 11%増と記録的な水準に達し、AI 需要の加速に伴い、2023 年の最後の 2 四半期にモジュールの出荷台数は急速に増加した。2023 年通年では、データコムの総売上高は年初の業績不振が重しとなり、-4%の減少となった。
- 2023 年初頭に急激に落ち込んだ 400GbE ポートの出荷台数は回復し、23 年第 4 四半期には前年同期比 50%以上増加した。
- 高速データコム用光部品市場は、2025 年までに 100 億ドルを超えると予測されている。

コヒーレントポート出荷量は前四半期比で増加したが、前年同期比ではわずかに減少した。400ZR/ZR+の出荷台数は前四半期比

25%増。

・組み込みおよびプラグブルコヒレント光モジュール市場は、2024年に60億ドルを超えると予測されている。

・Huawei、Infinera、Acacia、Nokia は、この新技術の生産出荷の第1四半期である23年第4四半期に、Gen120P 1.2T 高速コヒレントポートを出荷した。

・Signal AI の800GbE モジュールの2024年の予測は、需要の加速に基づいて8%増加し、1600ZR モジュールの当初予測も今四半期の光学コンポーネントレポートに追加された。